

2015. 8. 5

通信制高校など設置へ

県私学審 新設2件、廃止5件認可

知事の諮問機関である県私立学校審議会（会長・宗村南男県私学総連合会長）が四日、津市内のホテルであり、学校法人の設立二件とそれに伴う学校の設置二件、私立学校の廃止五件を県の諮問通り認可した。県は近く審議会から答申を受け、設立などを認可する見通し。

審議会が認可したの

は、学校法人玉村学園（津市一志町大仰）の設立と通信制普通科の	一志学園高校（同）の設置に加え、学校法人扶桑学園（津市中央）の設立と三重日本語学校（同）の設置。	玉村学園は、不登校生や高校中退者の進学、就職を支援するNPO法人「チャレンジスクール三重」が母体。一志学園高は廃校
--------------------------------	--	---

になった旧大井小学校の一部を津市から借り受ける。定員百二十人。三重日本語学校は主に外国人留学生在が対象で、総定員百五十人。両校とも二〇一六年四月に開設する予定。審議会では、学校法人鈴鹿享栄学園（鈴鹿市庄野町）が一七年四月に同所での開設を目指す「鈴鹿中等教育学校」の設置計画の報告もあった。

（津市）亀山珠算簿記専修学校（亀山市）。学校（亀山市）紀伊自動車学校（御浜町）と減少や設置者の死亡な専修学校のあかつき洋ど。（相馬敏）

私学課によると、同学園が同所で運営する「鈴鹿中学校」「鈴鹿高校」は、試験なしで中学から高校に進める「併設型」の中高一貫教育校。来年の審議会に認可を受けると、県内初となる中等教育学校の設置が決まる。一方、廃止が承認されたのは、各種学校の田浦塾修道館（鈴鹿市）津新町珠算学校